

## 広島港宇品地区クルーズターミナル（仮称）建設工事における 工事請負契約の変更について

### 1 要旨・目的

令和4年9月定例会において契約締結の議決を受けた「国際拠点港湾広島港宇品地区クルーズターミナル（仮称）建設工事」について、建設工事請負契約約款（設計施工一括発注方式）第33条第6項のインフレスライド条項に基づく契約金額の変更を行う。

### 2 現状・背景

建設工事請負契約約款（設計施工一括発注方式）第33条第6項のインフレスライド条項に基づき、請負代金額の変更について受注者から請求があったため、基準日以降の残工事について請求者の負担（残工事の1.0%）を控除したインフレスライド後の請負代金額を算出し、変更する。

### 3 概要

#### (1) 対象者（請負者）

大和リース株式会社

#### (2) 事業内容（実施内容）

ア 工事名：国際拠点港湾広島港宇品地区クルーズターミナル（仮称）建設工事

イ 工事概要：ターミナル設計・施工（平屋建て）一式（CIQ棟、待合棟）

ウ 工事場所：広島市南区宇品海岸三丁目

エ 請負金額：当初 836,000,000円（税込）

変更 859,509,200円（税込）（増額23,509,200円：労務単価等の変動による）

オ 工期：令和4年10月1日～令和6年3月29日



#### (3) スケジュール

—

#### (4) 予算（単県）

令和4年度 327百万円、令和5年度 533百万円

#### (5) 今後の対応

変更金額が25,000千円以内であるため、知事専決処分により請負者と変更契約を締結し、2月定例会において専決処分の内容を報告する。

(参考) スライド変更額の算出について

ア 基準日 (R5. 5. 31) 以前の出来高額を確定し、基準日以降の残工事額を算出する ((D) 及び(E)の算出)。

イ 基準日以降の残工事に対する単価変動に伴う変動額を算出する ((F) の算出)。

ウ 算出された変動額 (F) のうち、残工事額 (E) の1%を受注者負担として控除し、変更額 (H) とする。

当初契約金額 (A) 760,000,000 円 うち 工事 (B) 725,227,000 円 業務 (C) 34,773,000 円		
基準日以前の <u>工事出来高額</u> (D) 0 円		基準日以降の <u>変動前残工事額</u> (E) = (B) - (D) 725,227,000 円
残工事に対する変動前後の差額 (F) 単価変動に伴う変動額を積上げ 28,632,000 円	受注者の負担額 (G) = (E) × 1/100 7,260,000 円 ※万円未満切り上げ	スライド変更額 (H) = (F) - (G) 21,372,000 円
		※表示金額は消費税抜き額
↑ 契約日 R4.9.30	↑ 基準日 R5.5.31	↑ 工期末 R6.3.29

区 分	契約金額 (税抜)	契約金額 (税込)
当初 (工事+業務) (A)	760,000,000 円	836,000,000 円
当初 (工事) (B)	725,227,000 円	797,749,700 円
当初 (業務) (C)	34,773,000 円	38,250,300 円
増額予定 (H)	21,372,000 円	23,509,200 円
変更予定 (A+H)	781,372,000 円	859,509,200 円